

第3回指宿医療センター市民公開講座を開催しました



平成28年2月21日(日)、指宿市民会館にて成育医療をテーマとした市民公開講座を開催しました。

『いぶすきで子どもを産み育てよう』と題し、いぶすき歯科医院院長の亀山先生、および当センターの産婦人科、小児科各医師による講演を行いました。

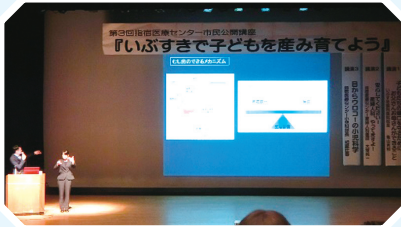
また、指宿市の後援により手話通訳者2名をお迎えし、当院初となる手話通訳も実施しました。

講演① 「子どもたちの健口を守るためにお父さんお母さんができること」

講師 いぶすき歯科医院院長 亀山秀和

子どもたちの虫歯の現状を示し、なぜ虫歯になるのか、なるとどうなるのか、どうやって防ぐか、など虫歯の原因、進行、予防について、お父さんお母さんに向けてわかりやすく講演していただきました。

また、会場よりご質問もいただきました。



講演② 「安心してください!産婦人科、やってますよ!」

講師 指宿医療センター産婦人科医師 大塚純一

産婦人科大塚医師により、妊娠中・出産について親しみやすい形式で講義致しました。

また、安心して出産いただけるよう、当院産婦人科での取り組みも紹介しました。

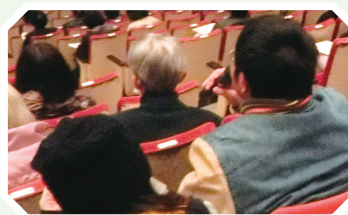
当院スタッフの親しみやすく、あたたかな雰囲気会場の皆様にお感じいただけたのではないのでしょうか。

2月にコンテンツを充実させた当院ホームページの宣伝も併せて行いました。



講演③ 「目からウロコ!の小児科学」

講師 指宿医療センター小児科部長 相星壮吾



小児科部長相星医師により、「小児科学」をクイズ形式で講義致しました。

回答者には、サプライズプレゼントを進呈させていただきました。

医科歯科連携 多職種口腔ケアラウンドを行っています



看護部 副看護部長 白石 早苗

当院看護部では平成25年度より口腔ケアチームを立ち上げ、実践できるためのマニュアル作成を行いました。26年度は学習会等を行い、実践できる手順と方法を示しましたが、入院時の患者情報を正確に捉えられずマニュアルの活用に至っていない現状がありました。そこで、27年度は言語聴覚士のスタッフの配置もあり、摂食嚥下の体制強化を図り、口腔ケアの充実を図ることも目的の一つとして、栄養管理室も含め、摂食機能改善検討委員会が立ち上がりました。院内多職種チームとして活動していく過程の中で、鹿児島県入院患者口腔ケア等推進体制整備事業の一環として、指宿歯科医師会と連携し、27年10月末より毎週木曜日の13時30分より、地域の歯科衛生士の方に参加していただき、医科歯科連携多職種口腔ケアラウンドを開始しました。

入院患者の中から、各病棟の摂食嚥下機能改善検討委員会のリンクナースを中心に患者の選定、ご本人・家族の同意を得て、毎週4名前後の患者ラウンドを行っています。

ラウンド対象患者は、舌苔のある方、開口困難な方、口腔内が乾燥気味の方、喀痰の多い方、麻痺のある方、摂食嚥下機能訓練中の方、胃瘻や経管栄養中の方、化学療法中の方等、病態も自立度も様々な患者の方々です。



ラウンドの様子です。歯科医師・歯科衛生士・病棟担当看護師で口腔内を観察しています。



ラウンド当初は、歯科衛生士の方々の技術に見学状態で参加していた看護師も、ラウンドを重ねる過程で、口腔内の観察・アセスメントの視点や口腔ケア時のポイント等を積極的に歯科衛生士に確認し、一緒にケアを行うことで、日々の口腔ケアに継続できるよう取り組んでいます。

今後も口腔ケアラウンドを通して、多職種連携を深めながら、互いのスキルの向上につなげ、患者さんの健口の保持・増進に努めていきたいと思えます。

第4木曜日は各病棟のリンクナース全員がラウンドに参加しています。歯科衛生士とケア方法について検討中です。

